

宇宙戦略基金（第二期）の検討の進め方案

令和7年1月27日
宇宙開発戦略推進事務局

○ 検討の観点

- ✓ 「基本方針」に記載の通り、「宇宙技術戦略」を参照しつつ、JAXA 主体ではなく、民間企業・大学等が主体となることで、より効果的な技術開発の推進が図られるテーマを、本事業の技術開発テーマとして設定する。
- ✓ 令和6年度補正予算分（第二期）については、非宇宙のプレーヤの宇宙分野への参入促進や、新たな宇宙産業・利用ビジネスの創出、事業化へのコミットの拡大等の観点からスタートアップを含む民間企業や大学等の技術開発への支援を強化・加速するために必要な新たな技術開発テーマを設定する。
- ✓ 各技術開発テーマの設定に当たっては、事業全体の目標や KPI（例：年間打上げ30 件程度）との関係を明らかにしつつ、具体的な成果目標、出口目標、マイルストーン等を可能な限り定量的に設定する
- ✓ 第一期の技術開発テーマを含め、早期の技術実証や成果最大化に向けて、JAXA においてステージゲート評価等を活用し技術開発マネジメントを行うとともに、本事業の効果検証に必要なデータを積極的に収集し、各府省においても、有識者会議等も活用し、事業の進捗確認を行う。
- ✓ 各技術開発テーマの検討に当たっては、有識者会議等を活用し透明性を確保する。また、同時に、技術の急速な発展をはじめ国際競争環境の激化を受け、国際市場の獲得や国際競争力の強化等の観点から、迅速な事業開始を目指すことも極めて重要。
- ✓ 上記及び本日の報告等も踏まえ、内閣府において基本方針案の改定、各省庁において実施方針案策定の検討を進める。
- ✓ また、JAXA 及び関係府省や、本事業の進捗や成果、公募情報等について技術流出対策や企業秘密の保護等に配慮しつつ積極的に発信する。

○ 今後のスケジュール

1月27日 宇宙政策委員会

1～3月 各省の有識者会議において実施方針案の検討（複数回開催）

3月中下旬（予定）宇宙政策委員会（基本方針の改訂、実施方針（第二期）の策定）

以後、速やかに JAXA において公募に向けたプロセスを開始する